

## まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 岐阜各務野高等学校
2. 日 時 平成30年12月11日(火) 16時00分~17時30分
3. 場 所 岐阜各務野高等学校 会議室
4. 出席者 <参加団体>10名 <市> 市長、まちづくり推進課長、  
まちづくり推進係長
5. テーマ 高校生の視線からの街づくり

【参加者】私の住んでいる市は、工場がたくさんあるので、工場に就職される方が多いです。

【市長】各務原市の製造品出荷額は、15年連続岐阜県内1位で、年間で約7000億円です。また、各務原市の有効求人倍率は2.44倍(平成30年10月時点)です。そういった点からみると、各務原市は働く場が多いと思います。

【参加者】おっしゃられたことを私は知らなくて、その情報を全面的に推してもいいかなと思います。

【市長】働く場が多いですよということを色々なところでPRさせていただいています。今日は岐阜各務野高校ですが、先日は関商工高校や岐阜工業高校でPRさせていただきました。

今年度市内のものづくり企業などをめぐる「市内企業見学会」を初めて行いました。来年度もありますので、是非ご参加いただきたいと思います。

また、イオンで福祉や幼稚園、保育園で働きたい人に向けた就職ガイダンスを行いました。来年度は産業文化センターのあすかホールで開催し、そこで市内の企業さんに出迎えていただこうと考えています。今年度は1回でしたが、来年度は2回行う予定をしております。来年度も学校に案内をさせていただきますので、興味がある方は是非ご参加ください。

【参加者】各務原市では、夜にお年寄りの方が散歩をしていることが結構ありますが、道が凸凹していて、若者でも躓いてしまうことがあります。若者が躓くのなら、お年寄りの方は転んでしまうと思うので、街灯の設置や、道の補修をしてもらえると良いと思います。

【市長】道路整備は安全安心の観点から、非常に大事な点でありますので、学校から自治会長にお話をさせていただき、要望書の提出を受けて対応します。

【参加者】各務原市にはイベントがたくさんありますが、認知度が低いと思うので、宣伝を多くしていくべきだと思います。市はウェブサイトで色々PRしていると聞いたのですが、ウェブサイトを開くとみると、一度調べるという手間があるので、Instagramなどのアプリに進出していくことによって、もっとPRできるのではないかと思います。あと、テレビはどの世代も見るものだと思うので、ケーブルテレビなど若者も親しみやすいものに進出すると良いと思います。

【市長】SNS映えするように頑張っているのですが、出しても見ていただけていないところがあります

ので、今後も色々なことに取り組みたいと思っています。イベントというと、学びの森で、11月3日に「マーケット日和」を毎年開催します。中部学院大学に協力してもらって、学園のキャンパスも上手に使い、今年は約4万人に来ていただきました。こういったところはSNS映えしているところが多く、非常に評判になっています。ケーブルテレビなどへの進出について、広報課に伝えたいと思います。

【参加者】これから少子高齢化が進む中で、子どもが少なくなっていくのに、これ以上仕事を増やすと仕事量が余ってしまうと思います。仕事がたくさんあるから人手不足になってしまうということがあると思うので、仕事を増やすのではなく、仕事を減らすと良いと思います。

【市長】仕事を減らすと企業収益が減ってしまうので、なかなか難しいですね。各務原市はものづくりのまちで、今後ロボット化、IoT化が進むのではないかという予測のもとに、昨年「IoT推進ラボ」を立ち上げました。この取り組みを知ってもらうためのセミナーを今年開催しましたが、市内、県内とたくさんの方の企業さまに来ていただきました。ロボット化、IoT化に対応していこうと昨年からはじめていたので、来年以降も徐々に取り組みたいと思います。人が減っても、市内企業がしっかり運営できるように、まずは地元を固めたいと思います。

【参加者】商業科だと進学と就職の2パターンあるのですが、進学するにはお金がかかるので、市からたとえ半分でも奨学金の返済を免除してもらおうことで、各務原市に定住する人が増えると思います。

【市長】市として奨学金を出すことは難しいですが、就職をしてもらうということで、大学・専門学校生へ向けたインターンシップ補助金制度を設けています。インターンシップをしていただくと、企業さん側には、その分の日当代、参加した学生さんに交通費や、遠方であれば宿泊費を出しています。

県は奨学金制度を持っていて、県内の高校を卒業後、県外居住し、かつ、県外の大学を卒業した後、岐阜県に帰ってきて、1つの会社に5年間続けて働けば、奨学金を返さなくて良いという制度です。

また、大分県の日本文理大学と連携協定を結んでいて、高校で優秀な成績を収めると、入学金と学費を免除するという協定を結んでいます。日本文理大学には航空宇宙工学科があり、こちらに就職する人が多いので、そこに着目して協定を結びました。今後は他の大学にもアプローチをしていきます。今お話しいただいたことで、強い推進力を持って進めていけば良いと確認ができました。

【参加者】学校に広報紙は届いていますが、見ている人がほとんどいないと思うので、InstagramやLINEで発信するだけではなくて、私たちがLINEなどを追加して広めることも広報の1つだと思います。

【市長】こちらが知っていただきたい情報を出しているのですが、どうしたら見ていただけるかということを考えていきたいです。おっしゃっていただいたように、皆様にもお手伝いをしていただきたいなと思います。皆さんのように、これからこの地域で、或いは世界で活躍していく方たちが、どのように各務原市を応援してくれるのかということを考え直していきたいです。

【市長まとめの言葉】皆さんのようなご意見をいただくことによって、市の政策が作り上げられていきます。これからも自信を持って大きな声で発言していただきたいです。今後の皆さんの頑張りに市としても期待をしています。本日はありがとうございました。